

ふくよか

地域で支える医療と介護

2024 | 夏号 ■長崎県病院企業団本部
■令和6年7月発行



つき
筒城浜海水浴場(壱岐市)

CONTENTS

- P1 ——— 企業長より
- P2 ——— 診療看護師(NP)等の配置状況
- P3 ——— 特集1 | 令和5年度決算(速報)
- P4 ——— 特集2 | 新規採用職員研修
- P5 ——— 働きやすい職場環境づくり
- P6 ——— 新任幹部職員、本部転入職員紹介
- P7 ——— BREAK TIME

「ふくよか」の由来

医療人として患者さんに寄り添った会話が自然と出てくるような能力を付けて欲しいとの願いが込められています。

「人の病気を治すのは人、 人の力である」

長崎県病院企業団企業長 八橋 弘

企業長に就任してから3か月が経過しました。この3か月の間に、行政や大学病院関係者の多くの方々に、ご挨拶に伺いました。名刺を交換しながら病院企業団の立ち位置、評判、問題点など、様々なご意見を伺うことが出来ました。お会いした皆さんからの病院企業団の評価は高く、そして今後の発展に大きく期待されていることがわかりました。これは、今まで長崎県の地域医療を支えてきた病院企業団と職員の皆さんへの評価であり、職員の皆さんの日々の努力に寄るところが大きいと考えています。

4月の末に精神医療センターへ視察に伺いました。大塚俊弘院長と川久保憲一郎看護部長に病棟やナースセン

ターを中心に病院の案内をしていただきました。精神医療センターへ視察に伺いました。大塚俊弘院長と川久保憲一郎看護部長に病棟やナースセンタ

大切にしたい、その言葉を今日の視察で私は思い出すことができました。今日はとても良いものを見せていただきました、有難うございました」と言

南欧風の病院の建物を見ることができました。南欧と言えば、画家のゴッホは、太陽と地中海の風を求めて南フランスのアルルに移動し、多くの向日葵の絵を描いたと聞いています。この病院にも向日葵の花が似合いそうだな

精神医療センターの建物は、大村湾の海を見渡すことができる小高い丘の上に周辺の緑の木々に囲まれるようにして建っています。今は古くなったけれど、そのユニークなデザインの病院の建物は、有名な建築家によるものとお聞きしました。建物の構造やデザインからも、心のゆとりを感じることができ

病院からはバスで帰ることにしました。バス停に立っていると、道路を挟んで立つ電信柱のふもとから甘えるような猫の鳴き声が聞こえてきました。時間に遅れて到着したバスは私たちだけで貸し切り状態になりました。そして左右にゆれるバスが三浦海岸沿いの道を上り切ったところで視界が開け、再び屋根はオレンジで壁は白の



診療看護師(NP)等の配置状況

令和6年度から新たに島原病院、上五島病院、壱岐病院にそれぞれ1名の診療看護師(NP)が勤務されることになり、病院企業団全体では7名の配置となります。また、現在34名の専門・認定看護師が勤務されています。看護のスペシャリストとして専門的な知識や技術を生かし、地域に根差したチーム医療におけるコーディネータ的役割を担っています。

診療、専門・認定看護師の配置状況							(令和6年4月1日現在)
	精神医療センター	島原病院	五島中央病院	上五島病院	対馬病院	壱岐病院	合 計
診療看護師	—	2名	1名	1名	—	3名	7名
専門・認定看護師	13名	9名	5名	2名	2名	3名	34名

～看護職員を募集しています～

病院企業団ホームページに採用情報を随時掲載していますので、皆様のご家族やお知り合いの方にもぜひお声がけをお願いします。キャリアアップ教育システムが揃っており、それらを活用して勉強することもできますし、キャリアを積まれた方もその経験を離島などの医療で発揮することができます。

採用情報

検索



した。そして職員の皆さんは、患者さん一人ひとりに向き合い、親身になって患者さんと接しておられました。その光景を見て、私は今から4か月ほど前の長崎医療センター在任の頃、精神科病棟の看護師長から言われた、ある一言を思い出しました。「精神科の患者さんは看護で変わります。精神科看護が充実していると拘束も不要となり、薬剤も減らすことができます。精神科の患者さんの看護ができるのは精神科病棟の看護師だから、なんです。」

病棟の視察を終えてから、講堂に集まった職員の皆さんへの新任の企業長からの挨拶となりました。私は簡単に自己紹介をしたあとに、今日初めて精神医療センターの内部を見せていただいたこと、職員の皆さんの仕事の様子、患者さんとの接し方を見て、感じたことをお話ししました。「院長と看護部長のリーダーシップの元に皆さんが生

令和6年度 新規採用職員研修



病院企業団の現況を知り、職員としての自覚や職員相互のコミュニケーションを図るため、新規採用職員研修を6月17～18日の2日間、長崎市伊王島町のホテルで実施しました。各病院から看護師、事務、薬剤師、臨床検査技師、診療放射線技師、理学療法士、管理栄養士、精神保健福祉士、介護福祉士の計44名が参加しました。

1日目

- ① オリエンテーション
- ② 講義
「ストレスマネジメント
ー自分のストレスを見つめてみようー」
精神医療センター
村島正俊看護師長(精神看護専門看護師)
- ③ 講義
「新規採用者に期待するもの」
八橋弘 企業長
- ④ 講話
「公務員としての心得・長崎県病院企業団の概要」
馬場秀喜 副企業長
※1日目終了後に、参加者全員で親睦会を実施



2日目

- ◆ 個人ワーク「5年後の自分への手紙」
研修参加者の全員に書いてもらいました。
書かれた手紙は5年後の皆さん方へお返しします。
- ◆ オリエンテーリング
「ウォーキングスポット 映え7」
グループに分かれて、チーム全員で協力しながら
ゴールを目指しました。



今回の研修で学んだことを活かし、各企業団病院での活躍を期待します

令和5年度決算(速報)

令和5年度の決算(速報)がまとまりましたのでお知らせします。企業団病院は離島や都市周辺部に所在しているため、人口減少や高齢化の急速な進行によって患者が減少するなど厳しい経営環境におかれています。職員が一丸となって更なる経営の改善のため、収益増や費用削減に取り組んでいます。

(単位:億円)

区 分	決 算	(参考)予 算
総 収 益	298.5	329.7
経常収益	297.2	329.1
医業収益	239.7	272.2
うち入院収益	146.3	169.0
うち外来収益	77.4	83.2
うち繰入金	5.1	5.1
医業外収益	57.5	56.3
うち繰入金	34.8	34.71
特別利益	1.3	0.6
総 費 用	312.1	325.9
経常費用	310.2	324.0
医業費用	295.3	319.4
うち給与費	166.8	170.9
うち材料費	55.0	63.8
うち経費	46.5	57.7
医業外費用	14.9	▲3.7
特別損失	1.9	1.9
医業損益	▲55.6	▲47.2
経常損益	▲13.0	5.1

※決算は税抜き(消費税の決算整理後)、予算は税込となっています

～企業団病院は地域医療に貢献しています～

令和6年度のDPC(診断群分類)の「機能評価係数Ⅱ」が公表されました。これは地域医療への貢献度合や救急患者の受入れ度合などを係数化して、客観的に評価できるようにしたものです。企業団病院の全国順位は右記のとおりで、全国でも比較的上位になっています。今後も郷診郷創(地域での受診が地域を創る)の取組とともに、地域から信頼され、必要とされる医療を提供していきます。

	機能強化係数Ⅱ	全国順位 (1,526病院中)
五島中央病院	0.1526	52位
上五島病院	0.1416	113位
対馬病院	0.1362	145位
壱岐病院	0.1327	168位
島原病院	0.1139	414位

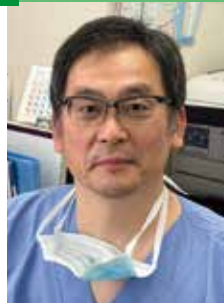
新任幹部職員紹介

精神医療センター 山本 智一 副院長



平成19年にセンターに着任いたしました、今年で18年目になります。副院長を拝命して一か月余り、これまで十分見えていなかった部分に多く携わることになり、目が開かれる想いをすることの多い日々です。当センターを益々魅力ある病院にするために、そして長崎県の精神科医療をより良くするために、努力していきたいと思ひます。皆さま方宜しくお願ひいたします。

島原病院 平島 定 副院長兼医療局長



令和6年4月より副院長を拝命した平島 定です。出身は高校まで大阪市で過ごし、長崎大学医学部卒業後は泌尿器科に入局し現在に至っております。医師3年目より同じ企業団病院である上五島病院には計4年間赴任しており、広報誌からは懐かしい顔を拝見しておりました。島原半島は高齢化・人口減少と難題を抱えておりますが、地域の健康と幸福のために微力ではありますが努力いたします。

対馬病院 福島 利恵 看護部長



この度、看護部長を拝命しました福島です。対馬病院は、島民にとって、なくてはならない病院であり、地元出身者を含む多くの職員が働く場でもあります。当院が、ずっと先の将来まで対馬であり続けられるように、看護部として貢献したいと考えます。そのためには、看護師や看護補助者が働き続けられるように、看護部長として全力で支援していきたいと思ひます。皆様のご指導よろしくお願いいたします。

精神医療センター 藤井 祥二 事務部長



4月にセンターの事務部長を拝命しました藤井と申します。3月までは県障害福祉課で勤務しており病院企業団勤務は初めてとなります。国が掲げる「入院医療中心から地域生活中心へ」という基本理念のもと、当センターとしても外来医療の充実を図っていく必要がありますので、交通アクセスの良い市街地への移転等について検討を進めるとともに、働きやすい職場環境づくりに尽力して参ります。どうぞよろしくお願い致します。

島原病院 松本 とよか 看護部長



令和6年4月より、看護部長に就任いたしました松本とよかと申します。当院は地域との連携を図り、地域に密着した病院でありたいと考えます。患者さんが住み慣れた地域で、その人らしく安心して生活していただけるように、多職種の専門性を活かしたチーム医療に取り組んでいきます。そして、高い看護実践能力とレジリエンスを兼ね備えた看護師の育成に努め、倫理観に基づいた柔軟な思考でケアを行える組織づくりに努めていきたいと思ひています。どうぞよろしくお願い致します。

のこさき 吉岐病院 鋸崎 くみ子 看護部長



4月より看護部長を拝命しました鋸崎と申します。吉岐へ戻り31年、沢山の人の出会い、看護師として多くの経験をさせて頂きました。高齢化が加速する中、看護需要はますます拡大しています。看護部の理念である「その人らしさを尊重」し、人々が住み慣れた場所で安心して暮らせるよう、人材育成と人材確保が私の使命だと感じています。微力ではありますが、継続していく事、変革していく事を見極めながら、職員がやりがいを持って働き続けられる職場環境づくりに努めて参りますので、どうぞよろしくお願い致します。

本部転入職員紹介



総務部企画経営班 溝上 翔太郎 主任主事



総務部総務人事班 黒崎 俊 主事

【担当業務】修学資金、職員採用試験に関することなど
【ひとこと】休日のはのびりしていることが多いですが、登山やデイクャンプなども好きです。ご迷惑をおかけするかと思ひますが、よろしくお願い致します。

働きやすい職場環境づくり ～養成医インタビュー～

病院企業団では、職員の皆さんが仕事と子育てを両立できる働きやすい活力ある職場づくりを進めています。今回は、対馬病院 小屋松先生に、女性医師の立場から両立の秘訣を教えてくださいました。

島では自然の子ども遊び場が沢山!!

Q 対馬市、新上五島町、五島市で勤務された感想を。

A 対馬(1度目)勤務では、1歳の子どもと2人で過ごしたので大変な毎日でしたが、しっかり看てくださる病児保育があったり、上司の先生方に恵まれたこともあり、仕事面においても充実した日々を過ごすことができました。今回(2度目)の勤務では、働き方改革の一環で勤務時間調整が行われており、勤務時間が8時から17時前になったことで、夕方以降の育児や家事が進むようになりました。6年ぶりの対馬ですが、皆さんから温かく迎えていただき嬉しく思ひます。

上五島では、第2子が生まれ、家族4人での生活が始まりました。子どもが小さかったため、院内保育所の先生方には大変お世話になりました。また、病院職員の皆さんもとても親切で、アットホームな職場でしたし、若い医師も多く、とても活気のある医局でした。

そして一番長く勤務した前任の下五島では、仕事が忙しく充実していましたが、仕事と家事や育児の両立が一番大変な時期でした。信頼できる家事代行サービスの方の協力や、職場でも、朝方に分娩がある時は早めに呼んでくださったり、本当に細かな配慮をいただいた助産師の皆様を始めとする多くのスタッフ、そして医局の秘書さんには本当にお世話になりました。心より感謝申し上げます。

Q 離島医療のやりがいとは。

A 多くの患者さんを初診から診ることができ、長きにわたり寄り添う医療を行えること、また、患者さんの社会的背景も含め総合的な医療ができることです。

Q これまで仕事でご苦労されたことは。

A その島に産婦人科医師が自分一人だけの時に急患対応を行った際は、一番緊張感がありました。他科の先生方のご協力もあり、スムーズな医療ができ、大変ありがたかったです。

病院企業団のホームページでは、ワークライフバランスを実践されている看護職員の皆さんを紹介しています。

VIVANT ナース

検索

Q 離島での子育てについて教えてください。

A 離島の自然の中で走り回って育ってきたので、大変元気な子どもに育ちました。周囲のサポートやご理解のおかげだと思ひています。

Q 上手な育児・家事のコツなどがあれば教えてください。

A いかに効率的に家事をこなすかを常に考えて、食洗機やドラム式洗濯機なども活用しましたが、これまで仕事を続けてこれたのは、仕事・家事・育児をサポートして下さる方の存在が大きく、上司や同僚、病院のスタッフ、家事支援を行ってくださった方、家族のおかげだと強く感じています。

Q 子育てから得た喜び、人生の学びなどいかがですか。

A 子どもが病気になる度に健康の大切さを実感します。色々なことを子どもに多く求めがちになってしまっていますが、自身も家族も健康第一に過ごし、さらには住民の方の健康を守るべく診療に励んでいます。

Q 離島勤務を考えている医師へのメッセージをいただけますか。

A 離島医療では、いわゆる総合診療を求められる場面が多く、幅広い診療能力を身につける機会が得られるのではと思ひます。また、日常生活では朝起きると綺麗な朝日が見え、夕日を見ながら帰宅し、すぐ近くに青い海と空が見える自然豊かな環境で生活ができます。興味がある方は是非一度見学にお越しください。

小屋松先生、インタビューに回答いただき、ありがとうございます。

長崎街道をゆく

西九州新幹線が開業してもうすぐ2年を迎えます。佐賀・武雄から長崎を結ぶルートは、江戸時代、九州で最も重要な街道とされた「長崎街道」^{ながさきかいどう}と重なります。小職も若い頃、長崎街道を何度か歩く機会がありました。当時、長崎から小倉まで続く25宿・57里の長崎街道は諸大名、出島オランダ商館長、全国各地の商人や学者、維新の志士など様々な人々が行き来しました。その中にはシーボルト、吉田松陰、坂本龍馬といった著名人だけでなく、海外から持ち込まれたゾウやラクダも歩いています。日本の政治経済や文化に大きく貢献し、新しい日本を生み出す原動力となった長崎街道については、現在でも「北九州市立長崎街道木屋瀬宿記念館」^{こやのせ}や、佐賀・神埼町のほぼ完全な形で残る「ひのはしら一里塚」など街道関係の名所もあり、福岡や佐賀と連携した街道を活かしたまちづくりが期待できるものと思われます。

今回は県教育委員会発行の「歴史の道 長崎街道調査事業報告書(2000年)」など幾つかの文献を参考に、長崎街道のおススメのポイントをご紹介します。長崎街道とは藩領ごとに整備された道をつないで街道としたもので、県内では、長崎



街道近くのフотスポット(千綿駅)

を起点に①時津經由での東彼杵に渡る大村湾ルート、②諫早經由での大村・東彼杵に続くルート、③諫早經由での佐賀・柳川の有明海ルート、④諫早經由での湯江・佐賀の多良街道ルート^{ささんか}(山茶花峠越え)と竹崎街道



BREAK TIME



ルート(有明海沿い)のおおまかに4ルートほどがあります。

この中で最も古いのが、①の時津街道・浦上街道と呼ばれるルートで、1597年に長崎駅前の西坂で処刑された26聖人が京都・大阪から長崎に送られた時に使われた道です。西坂から時津港までは1日で十分に歩ける距離で、途中、山王神社の被爆大クスや浦上キリシタン史跡、鯖くさらかし岩など名所がありますが、個人的には「六地藏」は時津街道の成立よりも古いと言われており興味深いです。

また、長崎街道と言うと②大村・東彼杵ルートを指すことが多いのですが、これは18世紀中頃以降になって使われることが多くなったものです。このルートは難所である日見峠(長崎市、井樋ノ尾峠^{いびのお}諫早市)、鈴田(日野)峠(諫早・大村市)、そして佐賀との県境・俵坂峠(東彼杵町)などウォーキングポイントが盛り沢山です。鈴田峠などは古道がそのまま残っていますが、歩くのは草木の繁茂しない時期が良いでしょう。

近年、巡礼路として四国お遍路や熊野古道、サンティアゴ巡礼路などを歩く方が多くなっていると聞きます。観光客や信者以外に、人生の節目に自分自身を見つめ直そうと旅している方が沢山おられるそうです。

最後に心に残った一言、作家 沢木耕太郎さんの著書「世界は使われなかった人生であふれてる(2001年)」の。この年になって昔選ばなかった人生を改めてやってみようかと思う今日この頃です。人は使われなかった人生が多ければ多いほど人生が豊かなのかもしれないね。

(文:副企業長 馬場秀喜)

編集後記

今年も夏がやってきました。ふくよか夏号が発行される頃は二十四節気の「大暑(たいしょ)」にあたり、1年のうちで最も暑さが厳しい時期です。夏の飲み会のイメージが強い「暑気払い」ですが、本来は水遊びや食べ物で体に溜まった熱気を取り除くことをいいます。そうめんやスイカ、かき氷など体を冷やす食べ物も取りながら、暑い夏を乗り越えていきましょう。[M.K]

表紙写真提供:(一社)長崎県観光連盟

令和6年7月発行
編集・発行/長崎県病院企業団本部
〒850-0035 長崎市元船町17-1 長崎県大波止ビル7階
TEL.095-825-2255 FAX.095-828-4759
[E-mail] honbu@nagasaki-hosp-agency.or.jp
[U R L] <https://www.nagasaki-hosp-agency.or.jp>
◎上記メールアドレスに記事についてのご意見・ご感想を どんどんお寄せください!

地域で支える医療と介護



長崎県病院企業団

検索

長崎県病院企業団
ホームページ

